



学校だより

目指す児童像

元気な子 (心と体すくすく)
進んで学ぶ子 (学びわくわく)
豊かにかかわる子 (人とにこにこ)

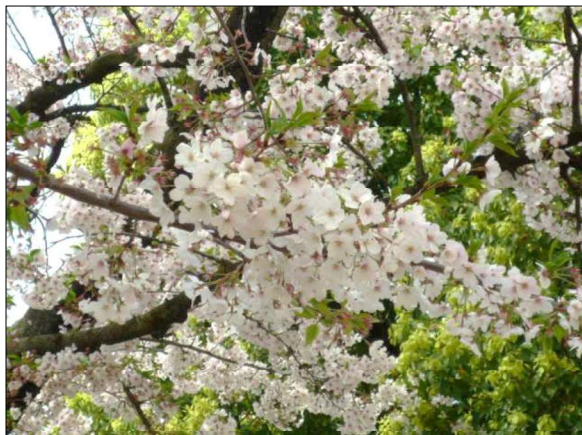
令和7年4月8日

第533号

児童数585名

今年度もよろしくお願ひいたします

校長 岩澤 奈々子



校庭の満開の桜が、並木っ子の入学、そして進級を祝ってくれているかのようにきれいに咲いています。新入生104名を迎え、通常学級18学級、特別支援学級2学級の全20学級、全校児童585名、教職員48名で、令和7年度がいよいよ始まりました。

保護者の皆様におかれましては、お子様のご入学、ご進級、誠におめでとうございます。

私は、本校着任3年目となりました、校長の岩澤奈々子(いわさわ ななこ)と申します。今年度もどうぞよろしくお願ひいたします。

学校教育目標「知・徳・体の調和のとれた心豊かなたくましい児童の育成」の具現化を目指し、教職員一丸となって教育活動を進めてまいります。その中で昨年度から、目指す学校像を「自他の良さを認め、互いに高めあう学校」と据えて取り組んでいるところです。特に本校にとって、「様々な文化を積極的に理解し、共に生きていこうとする人権意識の高い校風をつくること」「多様性を尊重し、互いに支え合うインクルーシブ教育を推進すること」が重要であると考えています。これらの風土が根付くよう、教育活動全体で取り組んでまいります。さらに、今年度の重点として以下を挙げさせていただきます。

<今年度の重点>

(1) 信頼関係・人間関係の醸成

「互いの良さを認め合う」教職員集団から、「互いの良さを認め合える」児童を育成する。

(2) 徳力の向上 ※最重点

「自分の考えを安心して発表できる」「話し合い、折り合いをつける」集団をつくる。

(3) 個々の力を組織に生かす(教職員)

「個の力を集団の力に」「若手教職員の力を伸ばす」環境を整え、力を結集する。

本校はこれまで、学校歯科保健、食育、学校体育、学校安全の分野で、家庭や地域と共に進めてきた取組を高く評価していただけてきました。その中で、未来を切り拓いていく力を目の前の子供たちにさらにつけていくためには、「徳力」(心の面)の向上が重要だと感じています。「様々な文化」や「多様性」という複雑な社会の中で、しなやかに生き抜いていく子供たちを、家庭や地域と連携しながら育てていきたいと考えています。

今年度も引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。